



御廬 明治十二年
五月三十日

八十五点
早ハヤ巖イハ

上

五十三点
蓬生フキナシ

上

四十点
東アキ屋ヤ

上

十五点
川竹カハタケ

上

四点
松風マツカゼ

上

花散里ハナチリ

上

五十点
薄雲ウソクモ

上

五十点
横笛ヨコフエ

上

四十点
紅葉賀アキハダガ

上

二十点
浮舟ウキフネ

上

五点
藤フジ

上

五点
手習テナラヒ

上

八十五点
胡蝶コノテ

上

五十五点
濔標シメジ

上

四十点
若菜ワカナ

上

廿五点
須磨スサガ

上

五点
螢ホタル

上

野分ノノリ
過料カワリ

上

八十五点
柏木カシ

上

六十点
榎エノキ

上

四十点
葵アオイ

上

廿五点
初音ハツネ

上

五点
花ハナ

上

二点
關屋セキヤ

上

九十点
篝火カウキ

上

六十五点
乙女オトメ

上

四十点
若紫ワカシ

上

三十点
柱ハシラ卷マキ

上

五点
朝アサ白シロ

上

二点
末摘花スエトシバナ

上

八十五点 胡蝶 上	五十五点 濔標 上	四十点 若菜 上	廿五点 須磨 上	五点 螢 上	野分 過料 上
八十五点 拍木 上	六十 推 上	四十点 葵 上	廿五点 初音 上	花の宴 五 上	二点 關屋 上
九十点 篝火 上	六十五点 乙女 上	四十点 若紫 上	三十点 柱卷 上	五 朝白 上	二 末摘花 上
十九 御法 上	七十 榊 上	鈴虫 四十点 上	二十点 蝶 十五点 明石 上	夕顔 八 上	二 雲 上
九十 宿木 上	七十五点 桐壺 上	夕霧 三十五点 上	三十点 橋姫 上	蜻蛉 八 上	二 御幸 上
百 夢 上	八十点 帚木 上	藤裏葉 四十五点 上	三十点 玉葛 上	空蟬 十 上	三 繪合 上
百 紅梅 上	八十点 句宮 上	五十点 常夏 上	三十 幻 上	五十 總角 上	梅枝 四 上



<p>九十 九点 宿木</p>	<p>十五点 壺</p>	<p>十五点 霧</p>	<p>十 点 橋姫</p>	<p>二 点 幸</p>
<p>八十 点 夢 浮 橋</p>	<p>八十 点 箒木</p>	<p>四十 五 点 葉 裏 藤</p>	<p>三十 点 玉 葛</p>	<p>三 点 合 繪</p>
<p>三十 点 百</p>	<p>八十 点 紅 梅</p>	<p>五十 点 常 夏</p>	<p>十 三 点 幻</p>	<p>十 五 点 空 蟬</p>
<p>三十 点 百</p>	<p>七十 点 句 宮</p>	<p>五十 点 常 夏</p>	<p>十 三 点 幻</p>	<p>十 五 点 空 蟬</p>
<p>三十 点 百</p>	<p>七十 点 句 宮</p>	<p>五十 点 常 夏</p>	<p>十 三 点 幻</p>	<p>十 五 点 空 蟬</p>



投扇真仕方
 但此後諸真仕方を略す
 投扇真仕方
 先づ箱の中へ箱をさしこみしるは情をのせしむるは
 射すわくのわくをさしこみしるは情をのせしむるは
 射すわくの一れして扇をさしこむるは情をのせしむるは
 おきりあき成りあき通りに射す扇の中へ扇の間
 より扇を射すは情をのせしむるは情をのせしむるは
 扇を射すは情をのせしむるは情をのせしむるは
 扇を射すは情をのせしむるは情をのせしむるは
 扇を射すは情をのせしむるは情をのせしむるは



本町石原町八番地
 守川音次郎
 画工

通油丁十八番地
 出版人 竹内嘉之輔

明統十五年
二月十日

源氏五十四帖
投扇奥点附
全

卷之六

